
InterSystems公式

[Toshihiko Minamoto](#) · 2020年10月22日

[Open Exchange](#)

Object extension for VS codeがバージョン1.0になりました

開発者コミュニティの皆さん、こんにちは。

再度ここでObjectScript extension for Visual Studio Codeについてお話しできること、ならびに今回、バージョン1.0 のリリースを発表することに興奮しています！

開発者コミュニティはInterSystems と共に前例のない方法でこの製品を提供するために力を合わせてきました。開発者の生産性に非常に重要なツールというものは、初期の段階からコミュニティによるテスト、フィードバック、ソースコードによって構築されるのは当然のことです。

新機能

このリリースのほとんどの機能は 0.9 から存在しており、前の[この投稿](#)でアナウンスされていました。これらの機能はすべて強化され、洗練されました。

大きなニュースは、InterSystems Language Server が含まれていることです。これにより、シンタックスカラーリングとインラインドキュメントが Studio と同等になりました。Language Server は、ObjectScript 拡張機能をインストールする際にオプションとしてインストールされます。ベータユーザーの場合は、ObjectScript 拡張機能を完全にアンインストールして再インストールするのが最も簡単な方法です。その他、[VS Code Marketplace から Language Server](#) をインストールすることもできます。

どのObjectScript IDEを使用するかを決定する

1. 初めてObjectScriptで開発する方にはVS Codeの利用をお勧めします。Interoperability(相互運用性)の開発ツールについては、管理ポータルに組み込まれているツールを利用することができます。
2. Studio に満足していて、Windows で開発する場合は、スタジオを使い続けることができます。また、スタジオ上で使用しているInteroperabilityのツールは、まだVS Code上にはありません。
3. アトリエのユーザーであれば、できるだけ早く VS Code に移行することをお勧めします。アトリエは現在非推奨となっており、今後の機能強化やバグ修正はありません

ドキュメント

<https://intersystems-community.github.io/vscode-objectsript>

サポート

VSCode-ObjectScript は 現在、InterSystemsにて正式にサポートされています。これまでと同様にサポートに問い合わせることができますが、あなたの問題がコミュニティの他の誰かの興味を引くかもしれないので、[GitHub Issues board](#)を利用することをお勧めします。

重要なリンク

- インストール:<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=intersystems-community.vscode-objectsript>

Object extension for VS codeがバージョン1.0になりました

Published on InterSystems Developer Community (<https://community.intersystems.com>)

- ドキュメント: <https://intersystems-community.github.io/vscode-objectsript/>
- 問題点: <https://github.com/intersystems-community/vscode-objectsript/issues>

[#InterSystems公式](#)

[InterSystems Open Exchange](#)で関連アプリケーションを確認してください

ソースURL: <https://jp.community.intersystems.com/post/object-extension-vs-code%E3%81%8C%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B310%E3%81%AB%E3%81%AA%E3%82%8A%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F>